

ソ連引合 100万KW原子力発電プラント用
一次系 COMPONENT 商談の件

1. 過去の経緯

- (1) 1975年初旬駐日ソ連大使館を通じ原子力産業会議に対し正式引合があった。
- (2) 日本側は原子力産業会議の指導の下、次の6社を以つて日本メーカー連合体制を組織した。

三菱重工業株式会社（メーカー幹事会社）

石川島播磨重工業株式会社

株式会社日立製作所

東京芝浦電気株式会社

富士電機製造株式会社

株式会社日本製鋼所

- (3) 一方商社側も次の6社をもつて日本商社連合を組織し、両グループで本商談を積極的に取り組む事となった。

住友商事株式会社

三井物産株式会社

三菱商事株式会社

安宅産業株式会社

日商岩井株式会社

丸紅株式会社

（商社グループ幹事）

- (4) ・ 第1回日ソ打合せ 50年7月
・ 第2回日ソ打合せ 51年1月
・ いずれもソ連側提起の技術課題並びにソ連の規格・基準・法規に対する討議が中心
・ ソ連側は日本の技術力を高く評価
- (5) 第2回日ソ打合せにもとづき改訂 Technical Specification を5月に、改訂 Commercial Proposal を6月に提出し、現在ソ連の反応待ち。近々第3回日ソ打合せが行なわれる予定。